

【記者発表資料】

令和8年2月5日

九州地方整備局

## 「2026 海域港湾空港技術報告会(第13回)」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

今般、技術開発の促進に寄与することを目的とし「2026 海域港湾空港技術報告会(第13回)」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

本報告会では、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有し、技術開発の促進に努めます。

### 記

1. 日 時 令和8年2月27日(金) 13:30～17:00  
(12:50 開場)
2. 開催方式 会場とWEB(Microsoft Teams)によるハイブリッド方式  
会場：百年講堂(定員85名)  
(福岡県福岡市東区馬出3丁目1-1)
3. 主 催 九州地方整備局 港湾空港部
4. プログラム 別紙1のとおり
5. その他 取材を希望される方は、別紙2および別紙3をご確認下さい。  
報告会の様子を3月5日～27日の間、九州地方整備局港湾空港部のHPで動画配信する予定です。  
(URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/gizyutuhoukokukai/index.html>)

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課

課 長

尾田 忠

課長補佐

川端 稔教

TEL: 092-418-3380

# 2026 海域港湾空港技術報告会(第 13 回)

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。

本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

**日時** 2026 年 2 月 27 日(金) 13:30～17:00

(CPD 交付方法は閉会後にご案内します。)

**開催方法** 会場と WEB (Microsoft Teams) によるハイブリッド方式

会場：九州大学医学部 百年講堂 (定員 85 名)

受付開始：12 時 50 分～

**主催**：九州地方整備局港湾空港部

**共催**：九州大学大学院工学研究院

九州大学西部地区自然災害資料センター

(公社) 地盤工学会九州支部

(一財) 沿岸技術研究センター

(一財) 港湾空港総合技術センター

特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ

博多港ふ頭株式会社

(一社) 日本埋立浚渫協会

(一社) 港湾空港技術コンサルタント協会

九州港湾空港建設 協会連合会

## 問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課

担当：尾田、川端、相良、嶋田

TEL 092(418)3380

# 2026 海域港湾空港技術報告会(第 13 回) プログラム

## ◆開会式 13:30 ～ 13:40

- 開会挨拶 鈴木 崇弘（九州地方整備局 港湾空港部長）  
＜司会・進行＞ 工藤 寛之（九州地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官）

## 第Ⅰ部 13:40 ～ 15:25 全国の先進的土木技術の紹介・注目度の高い技術的取り組みの紹介

- ICT技術を活用した消波工メンテナンスの設計・施工手法の確立に向けた取り組み  
第7回インフラメンテナンス大賞 受賞  
昇 悟志  
（株式会社不動テトラ 総合技術研究所 研究開発室第三研究開発グループ グループリーダー）  
～ 質疑応答 ～
- 八代港大築島土砂処分場(中仕切堤)におけるカルシア改質土の冬季施工について  
令和6年度地盤工学会 九州支部 技術賞 受賞  
澤口 大夢  
（五洋建設株式会社 土木部門 環境事業部）  
～ 質疑応答 ～
- 受入土量の変更に対応した大規模土砂処分場のフレキシブルな埋立技術の開発  
令和6年度地盤工学会賞 技術業績賞 受賞  
片桐 雅明  
（株式会社 日建設計 都市・社会基盤部門 シビルグループ エンジニアリング設計部 アソシエイト）  
～ 質疑応答 ～  
～ 休憩 ～

## 第Ⅱ部 15:40 ～ 16:50 産官学の技術展望

- 九州沿岸の高潮特性と将来の港湾・沿岸防災で考慮すべき視点  
井手 喜彦  
（九州大学 工学研究院 社会基盤部門 助教）
- カーボンニュートラルポートの取り組みとBCPの両立  
重富 康文  
（博多港ふ頭株式会社 コンテナ事業部長）
- 年最大クラスの発生波浪と地球規模の気候振動との関係～北海道太平洋沿岸海域を対象として  
平澤 充成  
（一般社団法人 寒地港湾空港技術研究センター 審議役）  
～ 質疑応答 ～

## ◆閉会式 16:50 ～ 17:00

- 閉会挨拶 濱田 秀則（九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授）

## 取材申込書

会場にて取材を希望する場合は、この様式により、下記アドレスまでメールにてお申し込み下さい。 申込み締切は、2月19日（木）12：00迄です。

申込み先 [shimada-s89xp●ml.it.go.jp](mailto:shimada-s89xp@ml.it.go.jp) (●を@にして送信)

<b>所属クラブ（所属するクラブに○をつけて下さい）</b>	
・国土交通省九州記者会 ・その他（	・九州専門建設記者クラブ    ・九州大学記者クラブ ）
<b>会社名及び部署名</b>	
<b>取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います。）</b>	
① （代表者）	
②	
③	
④	
<b>連絡先（代表者の連絡先）</b>	

上記のとおり取材を申し込みます。  
九州地方整備局 港灣空港部 海洋環境・技術課 あて

## 取 材 要 領

### 1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課まで、メールにて事前申込みをお願いします。 事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守をお願いします。（2月19日（木）12：00必着）

- ・ 申込先（技術報告会専用アドレス）shimada-s89xp●mlit.go.jp  
（●を@にして送信）

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・ 所属クラブ名
- ・ 会社名及び部署名
- ・ 取材者の役職・氏名（取材者全員の役職・氏名を記載願います。）

### 2. 当日の受付及び留意事項について

- ・ 受付場所：百年講堂  
福岡県福岡市東区馬出3丁目1-1
- ・ 受付時間：12：50～

#### <留意事項>

- ・ 取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。
- ・ 会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は「報道関係者席」からお願いします。
- ・ 会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
- ・ 質疑については、担当者が現地にて対応いたします。
- ・ その他、取材にあたっては、担当者の指示に従って下さい。